

■脳タイプを数値で把握可能

B-Brain テスト結果表

氏名 動作チェック180130_2

日付 2018-01-30

アカウントID USR16330

あなたの脳タイプ
(思考・行動のクセ)

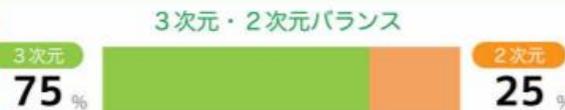
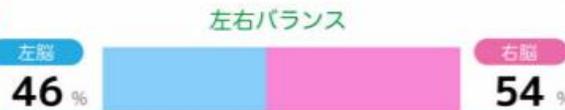
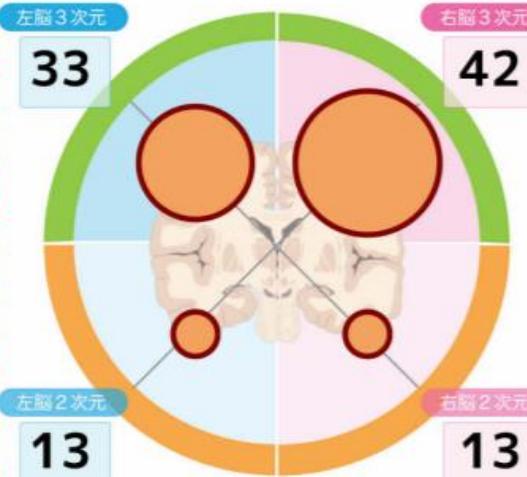
様々な心理テストや適性検査とは違い、脳科学に基づき、脳を領域別の機能に即して15タイプに分類しています。普段からよく使っている脳の領域が、その人の考え方や行動パターン・性格などをほぼ決めます。

自分の思考の得意、不得意パターンが理解できる

他人の思考の得意、不得意パターンが理解できる

1 あなたの脳タイプは

3次元脳優位タイプ



あなたの脳タイプ解説

行動力、決断力が優れ、合理的に目標達成を考えます。またスピーディーな行動を好みます。自分のやりたいことを達成するために集中力を発揮するタイプです。職場やグループの中心的役割を担える人です。しかし、結果をすぐに出したがり、長期計画等を立てるのが得意な方ではありません。整理整頓も苦手の傾向にあります。

留意：
目的遂行のためには対人関係を重視しない傾向があります。また、人の意見を無視して物事を進めていき、周囲の人から反発されることあるので注意してください。

～アドバイス～
自分の目的を選択する上では「社会のため」など公性の高いものを基準としてみましょう。また、自分の不得意な領域を補ってくれるパートナーを持つと良いでしょう。そのためには対人関係も重要ですから他人への思いやりも常に意識してください。

左脳 言語や論理、計算や時間に関連する大脳の領域
右脳 情緒や感性、視覚や音楽などに関連する大脳の領域

3次元脳 自分を中心に据え、全体を俯瞰した情報処理を行う
2次元脳 相手を中心に捉え、詳細な情報処理を行う

★4つの基本脳タイプ

左脳3次元 合理主義派

知識を統合して考え方を導き出す脳の領域
論理的に考え合理性を重視する。本質を追求し、過程よりも結果を重視する。



- 幸せを感じる時
- 習得した知識を生かせる時
- エキスパートして誇りをもてる時。
- 苦手とする状況
- 効率を優先しない時間の使い方。
- 場当たり的な対応や直感、雑談や世間話。

左脳2次元 整理主義派

言語の中核、豊富な知識を蓄える脳の領域
データを詳細に解析し、行動を決定する脳の使い方。細かい作業やルーチンワークが得意。



- 幸せを感じる時
- ルール通り、スケジュール通りに進んでいるとき。
- 数値で目標を達成できたとき。
- 苦手とする状況
- 頼みごころのない抽象的な話、急な予定変更。
- 自分の価値観への異論や批判。

右脳3次元 拡張主義派

空間認識、注意力に関係し、行動を促す脳の領域
自分の人間関係や環境を広げることが得意で、独断性が高く、周囲の人間を巻き込んでいくパワーを持っている。



- 幸せを感じる時
- 新しいことを始める時。
- 自由奔放をしているとき。
- 苦手とする状況
- 時間の制約や規制などを受ける時。
- 古い習慣を押し付けられるとき。

右脳2次元 感情主義派

感情、視覚記憶、音楽に関係し、情緒に働く脳の領域
人の気持ちや感情を察することが得意で、深い人間関係を構築できる



- 幸せを感じる時
- 自分の関係者が幸福を感じているとき。
- 人から頼られたとき。
- 苦手とする状況
- 推察や推論が先行する会話。
- 相手の表情が読み取れず、目標を合わせないとき。

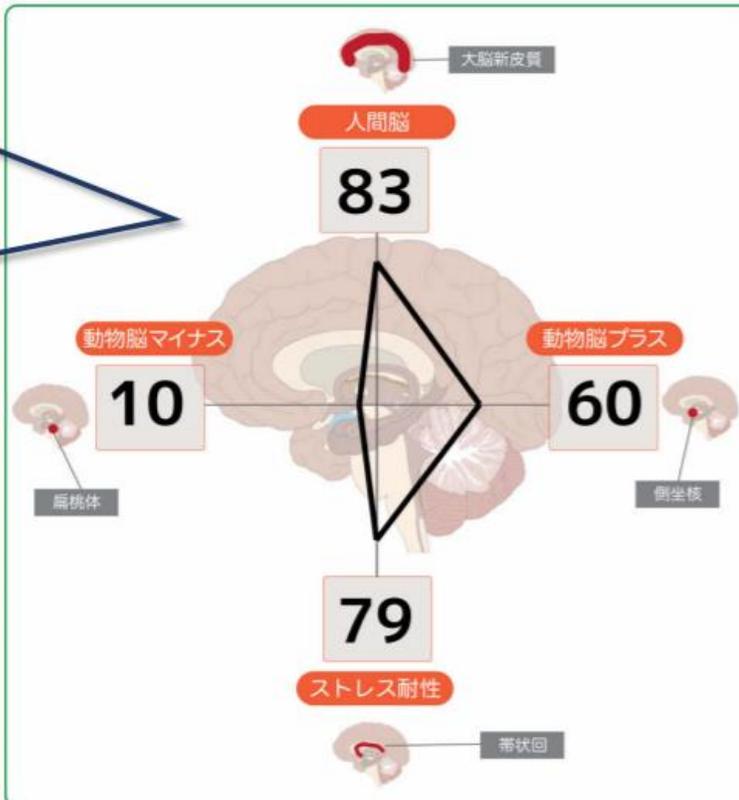
脳の活力度を数値化することに成功！（世界初）

あなたの脳の活用度 (メンタル指数)

最大の特徴はメンタル状況が数値でわかることです。
 ストレスに対する強さや不安・怒り、やる気度などが数値化されます。
 ただし、今の状況を反映させているだけなので、早めの対処で復活することが可能です。

B-Brain テスト結果表

2 あなたの脳活用度



3 あなたのストレス耐性

高

現在のあなたはストレスに強い状態です。過度のストレスが付加されても冷静に対処することができ、感情に左右されずに柔軟に物事を判断できる強くて、しなやかな脳であるといえます。ストレスがあるごとに、それを自分の成長の糧として脳の使い方を向上させられるでしょう。この状態を維持するため頑張り過ぎず、適度な休息も取り入れ、人間力を高める書籍を読んだり、尊敬する人との交流などの自己投資をすることでより一層、脳の質が高まります。適度な運動や瞑想は脳の血流量を増やすのに効果的です。

- ストレス耐性** 理想値 70以上
 ストレスにどれだけ耐えられるかという強さ。ストレスに対する感情のコントロールレベルと変化への適応度を示す。
- 動物脳プラス** 理想値 70-80
 情動や食欲、性欲など本能に関わる、本能的な使い方。適切に使われれば、脳の発達を促すとても大事な機能になる。
- 動物脳マイナス** 理想値 30以下
 ストレスに対して、攻撃的（イライラ・怒りなど）または逃避的（不安・悲しみなど）になる感情的な反応。プラスに働けば、人に対して協力的になったり思いやりを持ったりできる。
- 人間脳** 理想値 70以上
 人や社会の役に立てよう自他を育てる力。人としての生き方、人間学を学び、寛容さ、協調性、ポジティブシンキングなどを意識して身に付けることで脳の「強み」を活かす基盤になる。

上記4項目が理想値になると

- ・集中力、発想力、洞察力が増加する。
- ・対人関係がより充実する。
- ・自己実現が可能となりやすい。
- ・健康な状態が保たれる。
- ・仕事のパフォーマンスが向上する。
- ・強く、しなやかな精神の持続、など
- ・困難に打ち克つ力が増加する。

能動脳・受動脳バランス



用語解説

帯状回
 大脳辺縁系の各部位を結びつける役割を果たしており、感情の形成と処理、学習と記憶に関わりを持つ。活性すると感情の起伏や過度な本能的欲求を抑制すると報告されている。機能が低下すると上記と逆作用となる。瞑想を行うと活性化することが証明され、注目が集まっている。

側坐核
 前頭連合野を助け 行動意欲に繋げる役割をする。ドーパミンに関連する部位のため一般的には「やる気」を出させることでも有名だが、報酬系、快楽依存、不安などにも関連していて複雑な特性をもつ。

扁桃体
 情動的な出来事に関連付けられる記憶の形成と貯蔵における主要な役割を担う。喜怒哀楽、恐怖、逃避、攻撃など多岐にわたる情動に関連している。

大脳新皮質
 高等動物が発達しており、特に人間は顕著に発達している。言語機能や情報収集・分析、思考、推理など知性を司る領域。

bioLT 株式会社バイオエルティ

TEL 050-3775-9315

URL <http://www.bio.lt.co.jp>